

反則金と私たちの価値

高崎市立群馬中央中学校

三年 寺田 結香

並列走行や二人乗り、三千円。一時不停止・傘差し・イヤホン運転、五千円。信号無視や逆走、六千円。そして、ながら運転、一万二千円。これは、先日私が見た「警視庁がまとめた、主な自転車運転の交通違反に対する違反金額の案」についてのニュースの内容です。来年の春から採用されるということでした。いま私は、違反金と反則金額だけを伝えました。もう一度説明するので、自転車の違反行為であることを踏まえて聞いてみてください。大変危険な、ながら運転でも一万二千円です。これを聞いて、あなたは今何を感じたでしょう。私は、このニュースを見て、まず「安い」と感じました。それは、この罰則金額では「そのくらい金額ならまあいいか。」そう考える人もいるのではない

いかと思いました。しかし、あなたの命はいくらですか。この違反行為の罰則は最高でも一万二千円です。この案は、事故を防ぐため、そして私たちの命を守るためのものです。たった一万二千円で私たちの命は守られています。私たちの命は、それだけの価値でしうか。

皆さんは、近年の自転車に関する交通事故数は、全国でどれくらいだと思いますか。警視庁ホームページに掲載されている去年のデータによると、なんと一年間で一万五千八十件。これを三百六十五日で割ると、約四十一件もの自転車事故が起きているということになります。とても多いですよ。さらにそのうち一人は、命を落としているそうです。一時間の間にも、約二件起きています。

実は私も自転車と接触した経験があります。当時、小学校高学年だった私は、学校からの下校中、友達と話しながら左側の歩道を歩いていました。そして、私が歩道の右側に寄った瞬間、肩に激痛が走りました。私の右側には、自転車ごと倒れた中学生の姿が。そう、

向こう側から走ってきた自転車に気付かなかった私は、自転車が通る瞬間に右側に寄ってしまい、私は自転車に接触。幸いお互いに大きなけがには繋がりませんでした。この事故はどのようにしたら防ぐことはできたのでしょうか。私は友達との話に夢中で、前方に注意を向けていませんでした。また、自転車は左側通行というルールがあるにも関わらず、相手は右側通行をしていました。つまりお互い周囲を確認し、交通ルールを守ることで、この事故は防ぐことができたかもしれません。私はこの事故を通して、交通事故はこんな身近なことなのだと驚いたと同時に、一歩間違えれば大事故に巻き込まれてしまうことだってあると感じました。もちろん、みなさんもです。

では、事故に巻き込まれないために、どのように生活をしていけばよいでしょうか。簡単な方法があります。交通ルールを守ればいいだけなのですから。反則金額は私たちの命よりはるかに安い、一万二千元。ですが、守らなければいけません。一万偽年よりはるかに安い「命」を守るために。

先ほど私は、事故に巻き込まれないためには交通ルールを守るべきだと言いました。簡単なことだと。そう簡単なことなのです。口で言うだけなら。それを実行できている人が少ないからこそ、事故は年々減らず、警視庁は反則金を設定することに踏み切ったのだと私は考えます。みなさん、今一度登下校時の自分の行動を見直して見てください。横断歩道で一時不停止していませんか。友達と話しながら並列走行していませんか。左側通行していますか。みなさんのその行動が、人の命にかかわります。

想像してみてください。一時停止していない人を多くの人が非難の目で見える世の中を。非難の目で見られる側になる前に、そんな世の中を作るための一歩を、今踏み出してみるべきではないですか。